

その他

片桐 清文

(A) 受賞（本人の受賞分のみ、指導学生の受賞等は除く）

1. 材料バックキャストテクノロジーセンター 平成 23 年度 若手研究奨励賞 (名古屋大学材料バックキャストテクノロジーセンター), 2011 年 10 月.
2. 特別研究員等審査会専門委員(書面担当)の表彰 (日本学術振興会), 2011 年 8 月.
3. 材料バックキャストテクノロジーセンター 平成 22 年度 若手研究奨励賞 (名古屋大学材料バックキャストテクノロジーセンター), 2010 年 12 月.
4. 第 64 回 (平成 21 年度) 日本セラミックス協会賞 進歩賞 受賞、2010 年 6 月.
5. The 10th Australia-Japan Colloid and Interface Science Symposium, Best Poster Prize 受賞、2009 年 2 月.
6. Donald R. Ulrich Award 受賞 (International Sol-Gel Society)、2007 年 9 月.
7. 第 60 回コロイドおよび界面化学討論会 ポスター賞 受賞(日本化学会)、2007 年 9 月.
8. IUMRS-ICA 2006 Best Paper Award 受賞(International Union of Materials Research Society)、2006 年 9 月.
9. 日本化学会第 86 春季年会 優秀講演賞 受賞(日本化学会)、2006 年 5 月.

(B) 特許

1. 出願番号: 2010-100103, 発明の名称: 磁場応答性リポソーム及び磁場応答性薬剤放出システム, 発明者: 河野健司, 改田知宏, 片桐清文, 今井雄治, 青島貞人, 森田勇人, 佐藤充則, 出願人: 公立大学法人大阪府立大学, 国立大学法人名古屋大学
2. 出願番号: 2009-218355, 発明の名称: 複合酸化物ナノ粒子の製造方法, 発明者: 河本邦仁, 片桐清文, 神谷純平, 藤波恭一, 出願人: 国立大学法人名古屋大学, ㈱トクヤマ
3. 出願番号: 2008-235772, 発明の名称: セラミック複合粒子の製造法および機能性セラミック複合材料, 発明者: 武藤浩行, 松田厚範, 逆井基次, 片桐清文, 大幸裕介, 出願人: 国立大学法人豊橋技術科学大学, 国立大学法人名古屋大学
4. 出願番号: 2003-306322, 発明の名称: 脂質被覆不溶性無機粒子, 発明者: 菊池純一, 片桐清文, 村上雅彦, 出願人: 奈良先端科学技術大学院大学, テイカ (株)

(C) 公的機関委員等

1. 文部科学省 研究振興局 学術調査官 平成 26 年 8 月 1 日～平成 28 年 7 月 31 日
2. 日本学術振興会 特別研究員等審査会専門委員 平成 28 年 8 月 1 日～平成 29 年 7 月 31 日
3. 日本学術振興会 国際事業委員会書面審査員 平成 28 年 8 月 1 日～平成 29 年 7 月 31 日
4. 日本学術振興会 特別研究員等審査会専門委員 平成 27 年 8 月 1 日～平成 28 年 7 月 31 日
5. 日本学術振興会 国際事業委員会書面審査員 平成 27 年 8 月 1 日～平成 28 年 7 月 31 日
6. 日本学術振興会 特別研究員等審査会専門委員 平成 22 年 8 月 1 日～平成 23 年 7 月 31 日
7. 日本学術振興会 国際事業委員会書面審査員 平成 22 年 8 月 1 日～平成 23 年 7 月 31 日
8. 日本学術振興会 特別研究員等審査会専門委員 平成 21 年 8 月 1 日～平成 22 年 7 月 31 日

9. 日本学術振興会 国際事業委員会書面審査員 平成 21 年 8 月 1 日～平成 21 年 7 月 31 日

(D) 学協会委員等

【国内】

1. 日本セラミックス協会 東海支部 東海若手セラミスト懇話会 運営委員, 2006 年 4 月～2012 年 3 月.
2. 日本セラミックス協会 東海支部 ホームページ委員, 2006 年 6 月～2013 年 3 月.
3. 日本セラミックス協会 基礎科学部会 部会長付幹事, 2007 年 4 月～2008 年 3 月.
4. 日本セラミックス協会 行事企画委員, 2010 年 4 月～2012 年 3 月.
5. 日本セラミックス協会 行事企画委員, 2015 年 4 月～2018 年 3 月.

【国際】

1. International Sol-Gel Society, D.R. Ulrich Award, Selection committee Member (2009).

(E) 討論会運営委員等

【国内】

1. セラミックス総合研究会 2006, 幹事 (2006).
2. 無機マテリアル学会第 113 回学術講演会, 現地実行委員 (2006).
3. 第 46 回セラミックス基礎科学討論会, 現地実行委員, 事務局 (2007).
4. 第 48 回ガラスおよびフォトニクス材料討論会, 実行委員 (2007).
5. 日本セラミックス協会 第 21 回秋季シンポジウム 特定セッション「新時代材料化学テクニクスの開拓」セッションオーガナイザー (2008).
6. 無機マテリアル学会第 119 回学術講演会, 現地実行委員, (2009).
7. 日本ゾルーゲル学会 第 8 回討論会 現地委員 (2010).
8. 日本セラミックス協会 2011 年年会 プログラム編成委員
9. 日本セラミックス協会 2011 年年会 サテライトプログラム 第 4 回材料化学テクニクス研究討論会 オーガナイザー (2011).
10. 日本セラミックス協会 第 24 回秋季シンポジウム 特定セッション「無機-有機ナノハイブリッド材料の創製と機能設計」セッションオーガナイザー (2011).
11. 高分子学会 第 60 回高分子討論会 特定テーマ「融合マテリアル: 分子制御による材料創成と機能開拓」セッションオーガナイザー (2011).
12. 日本セラミックス協会 2012 年年会 プログラム編成委員
13. 日本セラミックス協会第 25 回秋季シンポジウム・第 61 回高分子討論会ジョイントサテライトシンポジウム「革新的ハイブリッド材料研究討論会」オーガナイザー(代表) (2012).
14. 日本セラミックス協会 第 25 回秋季シンポジウム 現地実行委員
15. 日本セラミックス協会 第 25 回秋季シンポジウム 特定セッション「革新的ナノハイブリッドマテリアル ～ナノ構造制御と機能の融合による材料創成～」セッションオーガナイザー(代表) (2012).
16. 日本セラミックス協会 第 25 回秋季シンポジウム 合同セッション「融合: マテリアルの新構造・新機能の開拓」セッションオーガナイザー (2012).

17. 日本ゾルーゲル学会 第 11 回討論会 現地委員 (2013).
18. 日本セラミックス協会 第 25 回秋季シンポジウム 現地実行委員
19. 日本セラミックス協会 第 26 回秋季シンポジウム 特定セッション「革新的ナノハイブリッドマテリアル ～機能の融合を目指した材料設計～」セッションオーガナイザー (2013).
20. 日本セラミックス協会 第 26 回秋季シンポジウム 合同セッション「化学的プロセスの深化による革新的機能材料の創出」セッションオーガナイザー (2013).
21. 第 114 回触媒討論会 現時実行委員 (2014)
22. 日本セラミックス協会 基礎科学部会 基礎科学部会セミナー現地実行委員 (2014)
23. 日本セラミックス協会 第 29 回秋季シンポジウム 現地実行委員 (2016)

【国際】

10. 日本学術振興会 二国間交流事業 日中セラミックス科学セミナー, Local Organizing Committee Member (2006).
11. Asia Young Ceramist Conference in Tokai (AYCeCT), Organizing Committee Member (2006).
12. 10th International Conference on Ceramic Processing Science (ICCPS-10), Local Organizing Committee Member (2008).
13. The IUMRS International Conference in Asia 2008 (IUMRS-ICA2008), Symposium W: Liquid Phase Processing and Self-assembly of Inorganic Nano Materials, Symposium Co-chair (2008).
14. International Symposium on Zeolites and MicroPorous Crystals (ZMPC2012), Local Organizing Committee Member (2012).
15. The XVIII edition of the International Sol-Gel Conference (Sol-Gel 2015), Local Organizing Committee Member (2015).
16. International Conference on Electrophoretic Deposition: Fundamentals and Applications, Organizing Committee Member (2017).